

**講演名：**コーチングの基礎

～部下育成に使えるコーチングの手法と考え方～

**日時：**平成21年7月28日（火）15:00～18:00

**会場：**道銀ビル12F会議室

**講師：**PHP研究所の笹森氏

**参加者：**26名

**講演概要：**

今回は、PHP研究所の笹森氏を講師にお迎えし、コーチングに関する基礎を学ぶとともに、演習を交えた実践的な研修を行いました。

一般的な上司と部下の関係は「指示命令・指導」であり、上司の指示に従って部下は業務を遂行しますが、言い換えると、上司が持っている答えを部下に「教える」ことによって業務を遂行することになります。これは、いわゆる「ティーチング」に属する手法であり、迅速な業務遂行が期待できる反面、部下は、受動的に上司の指示を待って仕事をするようになり、能力以上の成果を得ることはありません。

これに対して、「コーチング」は、部下の中にある可能性を引き出し、その自主的な前進をサポートするコミュニケーションスキルです。上司からの一方的な指示命令ではなく、部下に対する絶対的な信頼を前提とした双方向のコミュニケーションを通じて、部下が有している「答え」を自発的に引き出すことを目標としています。また、コーチングは小手先の「スキル」ではなく、部下に対する無条件の信頼など、基本的な人間観に依存するというお話は大変説得力がありました。

講師の笹森氏が属するPHP研究所は、ご存じのとおり、松下幸之助氏によって、昭和21年(1946)に創設されました。経営の神様と称される日本屈指の経済人ですが、「部下に任せる」ことを基本とした人材育成方針は、現代におけるコーチングと相通ずるがあるそうです。

今回のテクニカルスクールでは、笹森氏によりコーチングの基礎に関する講義を行っていただいた後に、2人一組のチームをつくり、笹森氏から提示される課題に従って、それぞれが交互に「話し役」「聞き役」を演じる対話型の演習を行いました。ユーモアあふれる課

題に対して、参加者全員は不慣れなやり取りに戸惑いながらも、コーチングに不可欠な「対話」の難しさとその効果を実感できる質の高い演習となりました。



写真 - テクニカルスクールの様子

テクニカルスクール終了後、恒例の意見交換会は、いつもの立食形式とは趣をかえて、グランドホテルのバーで行いました。長谷川幹事のチョイスは実に適切であり、いつもとは異なるちょっとリッチな雰囲気の中で、意見交換会は大いに盛り上がりました。また、講師の笹森氏からは、コーチング以外にも多くの貴重なお話を伺うことができ、特に北海道の自立についての熱意のこもったお話は大変参考となりました。



写真 - 意見交換会の様子

残念ながら、「コーチング」の多彩な内容に比べて、半日で実施する夏期講習会には時間の制約があり、今回は「コーチングの基礎」に限定された内容となりました。今後は、今回の研修内容を発展させて、さらに実践的なコーチングについてもお話を伺う機会を設けられたら良いなと思いました。

（文責：青年技術士交流委員会 田中雄太）